

芦田宿と松並木

中山道



中山道 芦田宿

芦田宿は、芦田(依田)氏の浪人岩間忠助と土屋右京野左衛門が、神官今井曾五郎とともに慶長2年(1597)蓼科神社に納めた文書により新駅の設定を願ったことが伺え、中山道の宿場としては北佐久地域で最古とも云われています。

宿場の中心にある本陣では、大政奉還、明治維新に至るまでの間、諸大名や公家などが休泊しました。文久元年(1861)14代將軍家茂に嫁いだ仁孝天皇の皇女和宮東下の際には、遠くは長野市周辺からも助郷の動員が記録に残されています。

寛政12年(1800)に建て替えられた旧芦田宿本陣は、当時の面影を色濃く残して今なお現存しており、200年を越える客殿は長野県宝に指定(昭和63年・1988)され、京風づくりの貴重な数庫棟として大切に保存されています。



旧芦田宿本陣は、昭和63年(1988)長野県宝に指定された。玄関屋根は切妻造りで正面に唐破風をつけており、座敷部の屋根は妻入瓦葺構造である。内部は建坪80坪に上段の間等を配し、優れた意匠の京風な造りとなっている。

枡形跡(京側) 枡形とは、街道を鍵の手に折り、外敵の侵入に備えたもの。

枡形跡(江戸側)

蛇石様 ここにお参りすると、乳呑児の夜泣きが治るとされる。



四季折々の津金寺を一望



かぶと松と休み石



※津金寺のみどころ

- ・津金寺宝塔
- ・観音堂・仁王門
- ・妙見堂・学問杉
- ・保科五無齋記念碑
- ・わみ山裁定連歌碑
- ・山野草(カタクリ他)



峠の茶屋 説明板 道祖神と常夜灯(復元) 宿場レリーフ(あし田)

皇女和宮東下の行列 旧道出入口(京側)



松並木公園

平成5年(1993)に完成した史跡公園で、江戸時代から笠取峠頂上の茶屋にあったとされる金明水をはじめ、小県と佐久の境界を示す道標(従是東小諸領)、道祖神や常夜灯が復元され、町民や旅人の憩いの広場となっています。

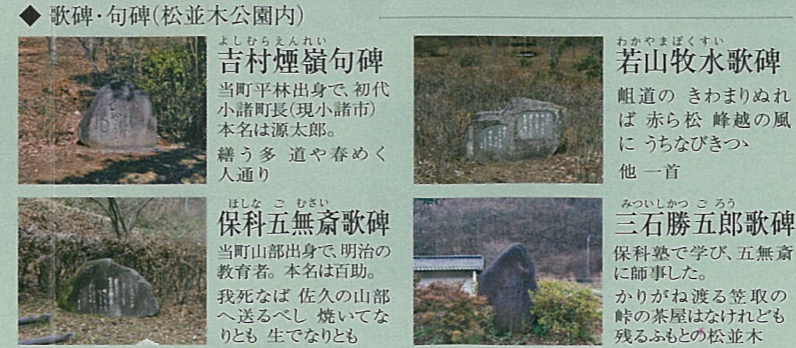
また、公園内には当町にゆかりのある歌人の句碑や若山牧水の歌碑が置かれ、旅人の安全を見守る道祖神も点在しています。

笠取峠の松並木

県天然記念物(延長約1km) 笠取峠のマツ並木(昭和49年指定)

江戸幕府の植樹政策により、慶長9年(1604)頃に植樹されたものと地元では口伝され、弘化2年(1845)には602本の補植の記録が残っています。その後の調査では、大正13年(1924)に229本、昭和46年(1971)には129本が確認され、平成22年(2010)3月現在では70本の古木が現存しています。

当町では、江戸時代から脈々と続く松並木周辺を公園化し、大切に後世へと伝承できるよう努めています。



◆歌碑・句碑(松並木公園内)

吉村煙嶺句碑 当町平林出身で、初代小諸町長(現小諸市)本名は源太郎。籍う多道や春めく人通り

若山牧水歌碑 組道の きわまりぬれば 赤ら松 峰越の風 にうちなびきつ 他 一首

保科五無齋歌碑 当町山部出身で明治の教育者。本名は百助。我死なば 佐久の山部へ送るべし 焼いてなりとも 生でなりとも

三石勝五郎歌碑 保科塾で学び、五無齋に師事した。かりかね渡る笠取の峠の茶屋はなけれども 残るふもとの松並木

信濃国	上野国	武蔵国	江戸
19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
上松宿	福島宿	宮ノ越宿	軽井沢宿
上松宿	福島宿	宮ノ越宿	軽井沢宿
上松宿	福島宿	宮ノ越宿	軽井沢宿

山城国	近江国	美濃国	信濃国
69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59	69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59	58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39	58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39
京三奈大橋	大津宿	草津宿	守山宿
京三奈大橋	大津宿	草津宿	守山宿
京三奈大橋	大津宿	草津宿	守山宿

すずらん学級運営委員会
立科町公民館 立科町教育委員会
TEL.0267-56-2311代
http://www.town.tateshina.nagano.jp
立科町携帯サイト

発行